

調布大好き!



みみチャンネル

NO.28

2000.4.10 発行

元気派市民とみとこの会

調布市深大寺北町 1-31-1

Tel&Fax 0424-88-4137 <http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/>

市財政は市民の財布 何が市民に必要な税金の使い方を!

大河みとこは市民がいきいき暮らせる「調布」のまちづくりのために活動していきます

まちの将来は市民の未来。どうする?

調布市では京王線立体交差事業の地下化、調布基地跡地への東京スタジアム建設とFC東京招致、東京外語大、警察大学校建設など大きな動きがあります。

不況下にあつてこれほど大きな事業を抱えるのは他市にない要素ですが、まちを変えるチャンスと捉えると、これらをどう生かすかが重要な課題です。当然、大事業は私たちの暮らしに影響を及ぼします。どうしたら元氣なまちとして運営し続けられるか市民も知恵を出し合う時です。場合によっては我慢が必要となるでしょう。それ故、市民が今後の税金の行方を知りたいのは当然です。この考え方から、今回の代表質問では「これからのまちの経営戦略」を市長に質問しました。詳しくは次頁以降をお読み下さい。私たちもまちの将来を真剣に考えていく時です。

調布市議会議員 大河みとこ



地方議員行政自主研究会にて、介護保険について語る



主なニュース

代表質問、市長の自治体経営戦略は?	2
どうなる介護保険「市民の声」から	4
超緊縮マイナスイ算が可決	6
新たに開設された公共施設速報	7
	8

会員募集と寄付のお願い

元気派市民とみとこの会は、1994年9月から市民による調布のまちづくりを目指して活動を開始し、1995年4月には無所属市民派の代表として大河みとこを議会へ送り出しました。活動も6年目を迎え、会報は今号で28号を数えます。これまで少しでも多くの皆様に会報が届けられるように、市政報告ができるように努めてきました。また、学習会なども開催してきました。「市民が主役のまちづくり」を進めるには市民の皆様の支えと活動を賄う実費が必要です。会の活動趣旨をご理解いただき会への入会またはご支援いただければ幸いです(同封の振り込み用紙をご利用ください)。ご協力をお願い致します。

元気派市民とみとこの会 代表 菅野マズエ

ホームページを見てくれた方がようやく二千人を超えました。やっと2000年に並んで何故かほっとしています。まだご覧になっていない方、一度覗いてみてくださいね。(みとこ)

元氣派市民の会の
代表質問(要旨)



市長が実現したいビジョンとそれを
実現するために考えている
自治体経営戦略について市民に
わかりやすい説明を！



布市の「都市経営」をどう進めていく
のか新たなビジョンが必要。重点施策
は何なのか、これらの政策情報を住民・
職員にわかりやすく示し、理解を得る
のビジョンを実現するための手だてを
作成、実行、検証していくこと。節度あ
る等身大の財政運営をし、自治体経営
も効率よく将来の見通しをもって行う
べきと考え、12年度における市長が実
現したいビジョンとそれを実現するた

めの自治体経営戦略について質問しま
した。

1・市長の自治体経営戦略は

経営戦略という視点から見た投資と
財源と効果について施策を組み立てな
おすところなるのか

投資の基準は何か
そのための財源確保はどうするか
その効果(成果)の予測は

【市長】市役所は信頼されることが大
事。新たな仕組みづくり等を考え、改
革し、信頼を高めたい。介護保険、少
子高齢対策、京王線立体交差事業等、今
年度重点的に財源配分。財源確保はサ
ンセット方式等検討中。

2・京王線立体交差事業

京王線立体交差事業は踏切解消の
ためだけの事業ではない。税収の落
ち込む中、新たな財源確保は行政の
重要課題。少子高齢化時代に将来の

市民生活を保障し、新たなニーズに
応えるには、京王線立体交差事業の
推進と同時にまちづくりを進める
「投資」が必要。その結果として人やお
金の集積による経済効果が歳入への貢
献につながる。

地域に暮らす人の企業化支援、商店
街の活性化など、お金が活きる投資が
必要。市に関連事業が起きることから、
市における事業の入札について透明性
と公正性の高いシステムの見直しなど
も検討課題。投資の観点、将来の財源
確保という視点からも立体交差事業が
最重要課題の事業であることを、もっ
とわかりやすく市民に説明するべき。
市長はこの点をどう認識しているのか。

【市長】事業は踏切解消と、南北の市街
地を一体化したまちづくりを計画的・
総合的に進めていくための事業。市財
政状況を見、国や都等の助成制度も活
用していきたい。事業効果は、居住環
境改善、防災機能向上等、ソフト面は
商店街の活性化や税収増加が見込まれ
る。

3・公共施設管理公社

市民ニーズへの民活という行政の認

識から公共施設管理公社が設立された
が、経営内容が示されず、恒久的なメ
ンテナンス費用を市が負担するのでは
意味がない。中長期的な視野に立った
経営をし、経費が軽減でき、何が効率
化され今までよりもメリットとなるか、
明細を市民に提示するべき。

【市長】管理公社はコストを押さえる
目的で設立。将来は類似する業務を
集中させることで効率性や市の直接
的業務の軽量化に貢献する。

4・ISO14001 認証取得について

上越市では ISO14001 取得に向けて
管理運営に科学的事務管理を経営の
概念のなかに取り入れている。
ISO14001 を取得するプロセスから学
ぶべきものは何か。個別問題として
ではなく、政策とのつながりを持つ
て実現するべき事業。何故今
ISO14001 取得なのか市民には見えて
こない。ISO14001 がめざしているマ
ネージメントのしくみを、行政スタ
イルの中に取り込むべき。ISO14001
の認証を取得することで市長の期待
している効果は何か。

みとこの活動日誌



- 1月 5 新春市民のつどい
- 9 出初め式
- 10 成人式
- 11 21世紀の調布を考える市民懇談会傍聴
- 17 障害者計画策定傍聴・介護保険策定委員会傍聴
- 20 市議会だより委員会
- 21 都市計画審議会
- 23 まちなか再生フォーラム
- 24 幹事長会
- 25 構想日本主催」. Iフォーラム「健康政策」
- 28 教育委員会傍聴・小規模校対策委員会傍聴
- 29 国際公会計学会合同研究会出席
- 30 市民駅伝大会
- 31 環境保全審議会
- 2月 1 全員協議会・幹事長会・議員会
- 4-5 市川房枝政治参画セミナー(情報化政策)
- 5-6 地方議員行財政自主研究会
- 7 21世紀の調布を考える市民懇談会傍聴
- 8 福祉環境委員会(陳情審査)
- 9 臨時議会(契約議案について)
- 10 自治体トップフォーラム
- 14 障害者計画策定傍聴
京王線連続立体交差事業説明会出席(八雲台小)
- 15 予算内示会・元気派ミーティング(議会報告会)
- 16 まちづくり市民会議参与会
- 18 「政治参画へのエンパワーメント」学習会参加
- 19 元気派学習会(成年後見制度)
- 21 知的障害者援護施設落成式
21世紀の調布を考える市民懇談会傍聴
- 22 介護保険策定委員会傍聴
- 23 小規模校対策委員会傍聴
- 26 調布まちづくりの会
調停部会まちづくりの調停ワークショップ
- 3月 2 痴呆性高齢者グループホーム開所式
調布心身障害児(者)親の会30周年記念式典
- 3 元気派ガレージバザー
- 6-24 3月議会開会
- 12 調布ボランティアのつどい
- 13 21世紀の調布を考える市民懇談会傍聴
- 18 神代中卒業式
たづくりハートふえーるコミネット
- 20 老人保健施設「いなほ」開所式
- 21 (仮)市民フォーラム準備会傍聴
- 28 環境保全審議会・相互塾

【市長】行動規範文化のために取得することにした。省エネからごみ減量まで広範囲だが、「Society」のマネージメントシステムによる考え方、行動基準が職員の意識改革につながると期待。

5・事務事業評価
事務事業評価をするのは何故か、何のために導入するか基準がわからない。めざすべきまちづくりが明確でないと、なんのために評価を行うのかが、市民に理解されない。実現すべき目的に向かって個々の事業が展開されるべき。事務事業評価に取り組み明確な姿勢を聞きたい。

【市長】市民本位の行政として総合的課題解決できる行政を目指し評価制度を施策点検にも活用し構築したい。

6・市民参加について
「市民が主役のまちづくり」という方針を行政がどう支え制度として保障するのか。計画した事を市民主導で政策や事例への参加としてつなげていくべき。市民参加経験者という人的資源の活用も課題。市民参加を確約するものは何か。

【市長】市民要望や意見が反映されるシステムの確立が基本。これまで市民参加した市民の自主的活動をどう育成、支援し、NPOなどにつなげていくのか今後の課題。

7・財源問題
事業を進める上で財源は欠かせない。一年間の行財政運営における財政フレームの基本的な考えは何か。行政の会計責任は市民の知る権利に基づき、市が財務報告を行うのは、会計責任を果たすという基本的な義務。公共財はみんなのもの、今は新たな市民サービス

【市長】市民要望や意見が反映されるシステムに削っている。見直しをする時には、市民サービスに何か必要かを把握できる制度が求められる。自分のお金を使う時のように充分考えて実行して欲しい。市民の納得がいく財政情報を提供し、市民と行政の信頼関係構築が大事。

【市長】予算編成は決算見込みも参考に作業。財政情報は年三回市報掲載しているが、予算・決算の議会審議は市民生活に責任を有するもの。主権者であり納税者である市民に、今後わかりやすい財政情報の提供に努めたい。

長女の都立高卒業式で、アンネフランクの話を用いた校長先生のあいさつに感激。それぞれの顔に眩しい未来を感じつつ、最後に唱った「蛍の光」で胸一杯になりました。(みとこ)

介護保険

調布のまちの声 第2弾!!

4月1日からいよいよ介護保険制度が開始されました。とは言え、まったく新しい制度だけに、行政側にも私達市民にも、多くの課題を残しての見切り発車となりました。そんな介護保険制度について、調布に暮らす方々の声を前回のみみチャンネル27号に引き続き特集しました。

*各ご意見は、介護保険制度の実施を目前にしてという前提で、本年1月に頂いたものです。

ご本人と介護保険、または高齢者福祉とのかかわり
今一番思っていること

入間町在住 (匿名希望)

公的機関やマスコミからの情報で知る程度。

週2回のヘルパー派遣を受けて一人暮らしをしていた高齢の男性が、生活に支障はないが話し相手が欲しいと言っていた。高齢者の健康増進こそが介護の総体量を減らすのであるから、この点(自立して暮らす高齢者の心のケア)に力を入れるべきである。

深大寺南町在住、A.Y.さん

ボランティアやサークル活動で高齢者とかかわっている。実母は92歳で一人暮らし。

まず思っているのは「よく判らない」と言うこと。知っているのは「4月1日から実施」と「40歳以上から保険料徴収」ということ。国や市が行うこと、自分の保険料はどの位か、現在受けているサービスは続けられるのか等、心配しているお年寄りが大勢いる。安心のためにできた介護保険が不安ばかり煽るのは何故か。慰労金(言葉も嫌い)の支払いは保険の体質からはずれている。

慰労金

介護保険を利用せずに、身内で高齢者を面倒みたいという家族ある一定条件を満たす場合に限る)に、年十万円を上限に支給される。

小島町在住、大脇正昭さん

調布市では自身が被保険者となり、田舎では実母が利用者となる。

参入事業者(サービス提供事業者)の質の確保、的確なサービスが利用者へ供給されること(ケアマネージャーの信頼性確保)、業者(サービス提供者)と行政との間で不正が起きないことを願っている。

染地在住、H.M.さん

市民活動を通して、市の高齢者福祉、介護保険の推進を見続けている。介護経験有り。

実施され円滑に運営されるためには様々な問題が山積み。特に苦情処理については市民の声を反映させ、地方自治体が独自のシステムで策定、実施することが一つの鍵。苦情処理の中では、これから出てくる地域福祉権利擁護の問題も重要。

国領町在住 (匿名希望)

定年後、ボランティア活動を通して長年高齢者・障害者の移送サービスにかかわり、介護をする家族の負担を目的の当たりにしてきた。

移送サービスはいわゆる「横だし」で介護保険の対象外となったが、介護に移送は付き物であるから問題は残る。現在調布では市や都の補助を受けたボランティア団体、公社を含めて4団体が移送サービスを行っているが、今後は民間業者やNPOによる移送サービスも設立される。福祉に競争の原理が働き、質が向上すれば結構だが、効率化優先によって「受け手」にとって「サービス低下」になることを危惧。また、「有料化」



は「利用者」も理解するところだが、負担額や低所得者への補助の問題はある。国も地方自治体も予算削減のしわ寄せが福祉部門に及ぶ傾向の今日、特別なケースに対する計らいはすべき。介護保険での民間参入は、今まで市民活動、ボランティア活動で福祉にかかわってきた人達にも気持ちの上での「プロ」意識と実力を要求することになるだろう。同時にボランティアを受け入れる側の「無知」は許されない。先日ある広報誌で施設の掃除ボランティア募集の記事を目にし、依頼する側の合理化された心が気になった。介護保険が健康保険の「一の舞にならぬよう、「受け手」と「担い手」の「心」が大切にされることを願う。

元気派の学習会 『調布の介護保険の“今”を知ろう』

日時：5月20日(土) 10:00 ~ 11:40

場所：文化会館たづくり1001学習室

「介護保険ちょうふ市民の会」の会員の方をお迎えし、調布の現状に目を向けましょう。質疑応答形式で、皆さんの疑問から学ぼうという企画です。



介護保険ちょうふ市民の会 / 介護保険全般について市民の立場で相談を受け、アドバイスすべく昨年12月に発足された。現在総合福祉センター1階に窓口を置き、相談・情報提供・サービス評価に活躍中。

成年後見制度についての学習会報告 2月19日、文化会館たづくりにて

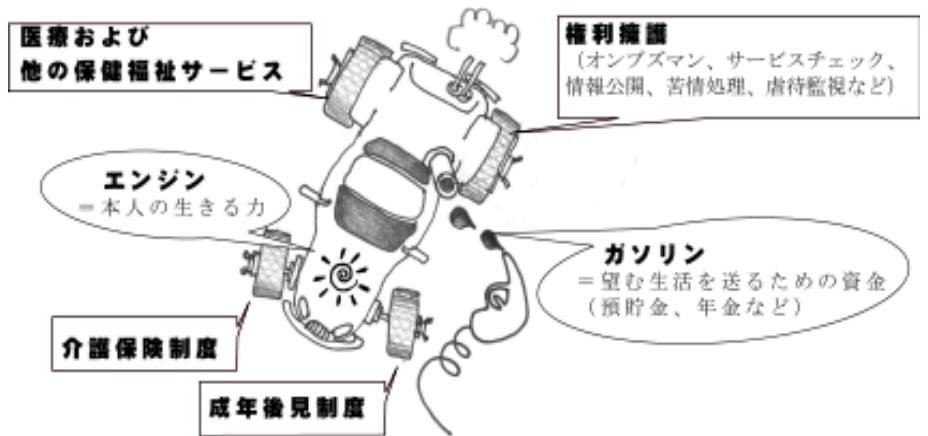
『成年後見制度』についての学習会(ぼけても自分らしく生きぬくために)を(社)日本社会福祉士会副会長の池田恵利子氏を講師に迎え、開催しました。

痴呆性老人のように意思能力の低下した高齢者の財産や人権問題について講師の体験を交えてのお話の後、その対策として登場した成年後見制度について伺いました。遺書で死後の意思表示ができるように、法的に認められた代理人に意思を託すことによって、たとえ「ぼけ」でも自分が望んでいる生活が続けられるように支えるシステムが成年後見制度です。介護保険制度と並んで、福祉が“措置(=行政処分)”から自主性と自己責任を問われる“利用契約”へと変わることを実感する学習会でした。

老いても自分が自分の人生の主人公でありえるための支援システム

老後の人生は1台の車のようなもの...エンジン、ガソリンそして4つのタイヤが必要です。

成年後見制度については、介護保険制度と同様に、今後も学習会の開催やみみチャンネルでの特集を考えています。共に学んでいきましょう。



~ 介護保険 ~ 調布のまちの声から思うこと

介護保険について2号連続でお伝えした調布のまちの声、いかがでしたか。ごく普通の市民の方から専門的な立場の方まで、幅広いご意見を頂戴しました。命有るものにとってはまったく自然な“古い”を、保険という制度で対処しようとするとき、多くの方が“心”について言及されたことが印象的です。

介護を受ける人の心 自立して生きる高齢者の心 要介護者をかかえる家族の心
ボランティアをする人と頼る人の心 ビジネスとして介護にかかわる人の心 etc.

人として“生き抜く”とはどういうことか、その心を問われているように思います。

より良い介護保険制度と高齢者福祉を求めて、これからも現実と向かい合いながら取り上げていきます。皆様のご意見、ご感想、見聞きしたこと、体験談など是非お寄せください。「書くのはどうも...」とおっしゃる方には、取材させていただきます。皆様のお待ちしています。

昨年から「花粉症」になりました。春はふらふらお散歩というのが何より好きなのに、外にでるのがこわくて...。義母にすすめられて赤紫蘇のエキスに挑戦中です。(みとこ)

「会議は踊る、されど進まず」という言葉がありました。議会運営は難しいもの、そんな体験をした3月議会でした。(みとこ)

みとこの議会レポート

厳しい財政状況における自治体経営は、コスト意識を持ち、公社など外郭団体の会計の情報公開も明らかにした行政運営を！



平成十二年調布市議会第一回定例会
三月六日～二十四日(十八日間)

厳しい財政状況の中で、大幅9.6%の超緊縮マイナス予算が可決される。

平成十二年度一般会計予算について
(賛成多数で可決)



元氣派市民の会・賛成
介護保険導入の年度において、「市民参加」「情報公開」を市の基本方針にし、市民参画した計画が徐々に予算に反映しつつあることを評価し賛成。しかし、厳しい財政状況で基金も底をついている。自治体経営という視点から自分の財布と同様に財源を捉え、健全な財政基盤確立への努力を求めた。

歳入について

市税は前年度と比較して7.2%の減収。前年度同様、財源不足を基金の繰り入れや減税補てん償などで補い、基金は底をついた。後年度に不安が残る。

歳出について

総務費「コミュニティ施策推進事業費に市民フォーラムの運営費が計上。市民自治の拠点になることを期待。高度情報化時代の今、地域情報化基本計画策定は市の経営戦略分野として重要、実効性のある計画策定を期待。オンブズマン事務費は評価、早期に条例化することを要望。

民生費

子ども家庭支援センター、知的障害者施設運営費等が計上。ホームヘルプ事業等介護保険導入に向けての福祉サービス事業の予算化は評価。

教育費

調和小学校建設費が計上。今後、教育関係の整備については計画的に優先課題として取り組むことを要望。中学校教育用パソコンの整備費が計上、広く活用されることを期待。学校の余裕教室は子どもに必要な事業を最優先に活用する事を要望。

土木費

京王線連続立体交差事業は住民との合意形成を図りつつ、まちづくりの可能性を求め、市の事業に対する考え方を明確にし、協働のまちづくりという観点から取り組んでいくことを要望。

青少年の健全育成に関する法律の制定を求める意見書

(賛成多数で可決)

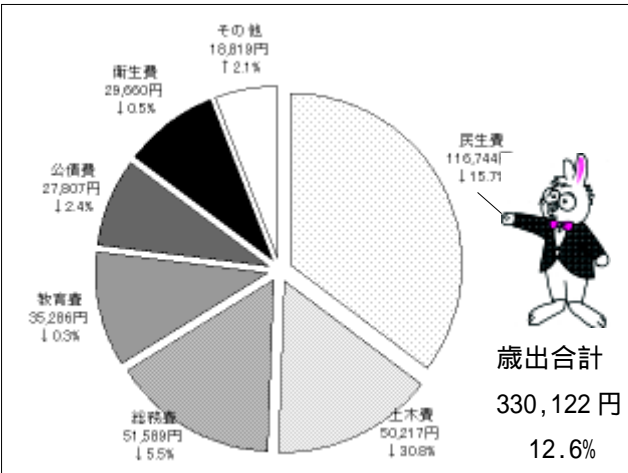
元氣派市民の会・反対



【元氣派の意見】まちなあふれている有害図書、薬物の乱用など青少年を取り巻く社会状況が悪化しているが、法律を制定する前に大人が行動し考えなければならぬ個々の問題や、法制定は慎重であるべきと判断、反対。

平成12年度の一人当たり予算額と前年度費

昨年度に比べ一人当たり12.6%の大幅な減額になっています。民生費(福祉費など)は知的障害者援護施設建設の完了と、介護保険導入に当たり、一般会計から介護保険特別会計へ移行したことから大幅に減少しています(15.7%)。昨年増加した土木費は、本年度は国領南地区の再開発事業推進費、都市計画道路整備などが昨年度から比べ減少したため、(30.8%)大幅減少になります。歳出を支える市税も減収となり、気になるところです(-2.7%)。



福祉環境委員会報告

福祉環境委員会に付託された平成十二年度予算に対し次の点を要望し、賛成しました。

(賛成多数で可決)



介護保険導入年に、市民との協働作業して生まれた高齢者福祉推進協議会が市民にとって実効性のある会として発展することを要望。

痴呆性高齢者グループホームの研究結果を今後の施策に生かす事を要望。

子育て支援政策については、状況からも優先課題である学童、保育園待機児等に考慮した柔軟な対応を求め。

健康診断の充実などは保険料抑制の意味からも推進すべき事業。事業の拡大を要望。

公園事業は市民参画に有効な事業、市民の声を取り入れた公園づくりを期待。

ごみ減量・リサイクル推進に向けた更なる努力を期待、新ごみ処理施設の建設計画については全市民の重要な課題、情報公開を基本に

市民との信頼関係を構築しながら慎重に取り組んでいくことを要望。

平成十二年度介護保険事業特別会計について

(満場一致で可決)



初めて介護保険が導入されるための予算が計上され、委員会審議されました。関連した条例も多数提案されました。調布市の介護保険の特長は次の4点です。

介護保険事業計画策定委員会からの提言から生まれた人権尊重を根底に市民と専門家の活動体、行政と民間公私の協働による協議体で、利用者の保護と苦情対応を目的としている調布市高齢者福祉推進協議会条例が制定された点
市・市民・事業者各自の責務について明文化された調布市介護保険条例となった点

介護の社会化という考え方が基本であるが、在宅介護を行う家族で介護サービスを受けない家族も想定される所から、調布市家族介護慰労金支給条例が制定された点
介護サービスが整備されていない時代に代って現金給付を段階的に廃止して現物サービスに移行す

るために調布市老人福祉手当条例の一部を改正する条例を行った点

これらの市の基本的な考え方について概ね合理的なものとして賛成しました。家族慰労金支給条例については特に悩みましたが、試行段階であることを考えるとあらゆる家族への配慮が現実的には必要と考え賛成しました。

学童クラブの入会に関する陳情
(全会一致の継続)



北ノ台小一年が3クラスから4クラスに増えることもあって、深大寺児童館の学童クラブの定員60名の所に108名の入会希望者がありました。緊急対応として児童館での増員、他児童館への入会等の措置が取られましたが、全員入会という結果にはなりませんでした。放課後児童の遊び場対策として、飛田給小で余裕教室を改修し専門嘱託員を配置するという新しい動きもあり、女性の社会進出に伴う今後の課題として、委員会議論を深める意味から継続審議になりました。調布市には児童館が10

傍聴記

市庁の4階、議会事務局で署名し、ロビーで待たされることしばし。係りの方に案内された議場は、外部のざわめきとはうって変わった、まるで「奥の院」と行った不思議な空間でした。傍聴席は入口からすぐ2階席上がり、議員さん達の背を真下に、一段高く、市長や市の担当者、質問される議員とは対面する形で座りました。地方自治体の財政難が叫ばれ、21世紀に向けて益々高齢化、少子化が避けられない。今後、山積する諸問題に如何に対処していくか、議員さんの真摯な質問を聞きながら、議会傍聴は、あなた任せではなく、市政に関心を持つ第一歩ではないかと感じました。深大寺北町在住 松野 トモ子



市川房枝記念会及びニューヨーク市立大学・女性と社会研究センター主催「政治参画へのエンパワーメント(2000.2.18)」にてニューヨーク市立大ゲルグ教授と共に

館あります。小学校は20校です。子どもの安全と負担軽減など考えると、学童クラブのあり方を検討し直す時期に来ていると考えます。

最近凝っているのが「蜂蜜トースト」。あの甘さが「元気の素」になっていると納得して毎朝食べています。もうひとつはロッチ・ラミーチョコ。ちょっと病みつきです。(みとこ)



調布中学校内に開設された調布市立弓道場
 総事業費6500万円、5人までが競技できるという
 弓道場が完成しました。外見を見た市民からは調
 布中に蕎麦屋さんができたのかという声もあがっ
 たとか、りっぱな内装にびっくりしたのは私だけ
 ではないと思います。中学に弓道部は無く、調布の
 弓道人口も多いとは思えぬ今、“何故この施設が”
 という質問の答えに窮する。



調布市に開設された新たな公共施設



調布市立飛田給北自転車駐車場
 飛田給駅地下に総事業費約10億円、1300台を
 収容する自転車駐輪場がオープンしました。東
 京スタジアム・警察大学校・東京外国語大学な
 どが進出する事を見込んでの市民サービス確保
 という大規模な駐輪施設です。公共施設管理公
 社に管理運営が委託されています。

伝言板

ちょっとみみよりな



元気派ミーティング (議会報告会)

5月17日(水)

4月1日から導入された介護保険などにつ
 いて報告いたします。

19:00 ~ 21:00

みんなきてね。

於：深大寺地域福祉センター



元気派ホームページ

<http://www.ops.dti.ne.jp/genkiha/>

メール genkiha@ops.dti.ne.jp

ホームページをご覧になってのご感想など、
 是非お寄せください。

伝言コーナー

みみチャンネルをお近くの方
 に配っていただける方を募集し
 ています。事務所までご連絡下
 さい。TEL0424-88-4137

会報「みみチャンネル」は古
 紙配合率70%の用紙を使用し
 ましたが、今回から100%にな
 りました。お気づきになりまし
 たか？

元気派市民とみとこの会
 の事務所は毎週月・火・木・金の10
 時から16時まで開いています。
 お見えになるときは予めお電話
 を下さい。

編集後記

私が育った頃に一杯いてくれた
 「おせつかいおばちゃん」にな
 るうと思っている今日この頃。(ち
 えみ)

去年の今頃は選挙の準備をし
 いたつげ。(まさこ)

あつという間にくる会報編集。
 原稿が間に合わない!みんなコメ
 ネ。(みとこ)

毎年、桜満開の日曜は事務所
 編集。今年は桜が遅いのか、原稿
 の出来が早いのか、お花見でき
 そうです。(みみゆ)

連絡先・元気派市民とみとこの会

〒182-0911 調布市深大寺北町

一〇三十一の二

TEL&FAX 0424(88)4137

元気派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。
 みなさんも当会に入会して、これからもずっと住み続けたいまち・調布にしていきましょう。



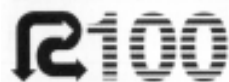
次の活動を行います

- 1 懇談会、講演会の開催
- 2 会報、パンフレットの発行
- 3 その他

会費(年)一口1,000円 何口でも結構です!
 会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。
 口座番号 00180-5-577951

加入者名「元気派市民とみとこの会」

「みみちゃん」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。